山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP
QRｺｰﾄﾞ

令和４年１１月４日（金）　第３９号
校　長　池部　聖吾智（みわとも）

地域とともにある学校

二学期になってから、三年生の校外学習や、全校での稲刈り、五・六年生対象の「山都でしか」による食育授業・味噌づくりなど、地域の方々の協力を得た潤徳小学校だからこそできる特色ある授業が立て続けに実施されています。

十月三十日には三年ぶりに地域の祭りが開催されました。そこにお招きいただき、楽しい時間を過ごすことができました。

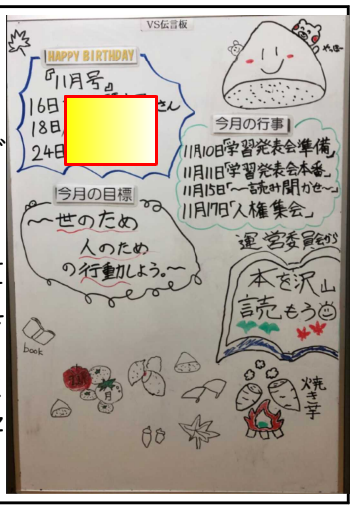
本校のことを少しお話しする良い機会ともなりました。

学校が地域社会の中で役割を果たし、地域とともに発展していく存在になるべく学校と地域の連携は、現行教育施策の「中心的な柱」となっています。子どもたちの豊かな育ちを保障するためにも、今後も地域と連携をはかっていけたら・・と思います。

「世のため・人のため」システム再始動！　11.1全校道徳授業２

11/1付潤徳小HPでもお知らせしましたが、「世のため・人のため」活動が１ヶ月停滞している実態がみられましたので２回目の全校道徳授業を体育館で行い、意識づけを行いました。授業直後には使用したICT機器や移動黒板の片づけを自ら行うべく５・６年生が殺到しました。さらにその日の児童委員会「運営委員会」においても取組について考え、右写真の通り、児童用掲示板に書いてくれました。

やる気がある人は、行動すればよいのです。行動の累積により「自分で気がついて自分で実行する」ことを自発的に学ぶはずです。よく草取りに来る２人は既に気づいています。



潤徳抄

九月の人間ドックの結果を受けて「生活習慣改善」プログラムに取り組んでいる▼体重は一進一退といったところであるが、腹回りがグンと減った。鏡に映る自身の姿を見たり腹を触ることで確認できる▼さらに、変わったなと自覚することがある。外食に行ったときに大盛を頼もうと思ってもセーブするようになったし、晩酌も今まで二種類飲んでたのを一種類で止められるようになったことだ。その時は物足りなくとも、飲食後しばらくすれば、ある程度落ち着くことが分かったからである。▼ただ、飲み会が再開したときに、ほんの少しの量で酔ってしまうような気がする。体のためには良いことなのだが、さみしい気もする▼この二週間ほどで、よほど忙しくなければ昼休みに外に出て運動する（遊ぶ）習慣が身についた。様子をＨＰにもアップしているので「潤徳小の校長はヒマそうだな」と思われているかもしれない・・（笑）